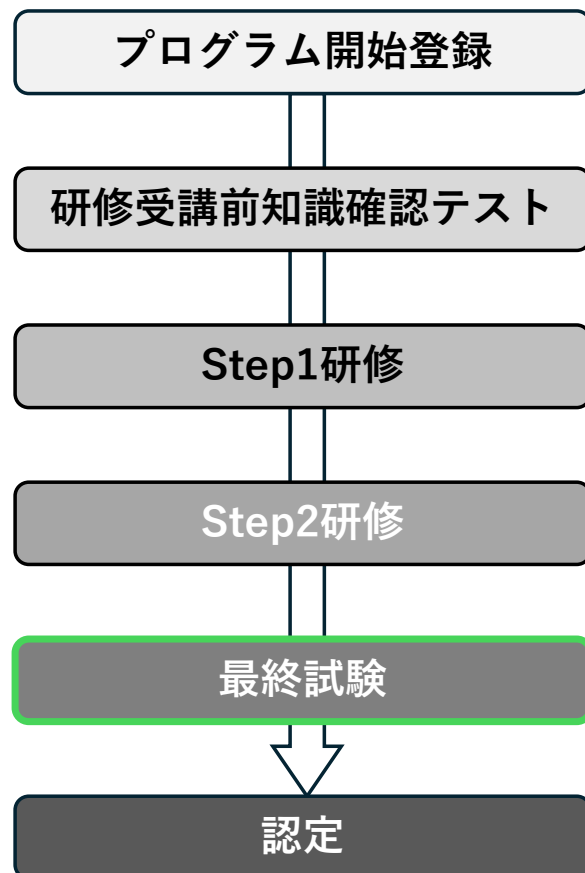


最終試験について



【試験形式】

対面形式で、模擬症例を用いる。

30 分以上の審査を 2 回以上実施。

1 回の審査においては 1 人の受講希望者に対して 2 名以上の家族役を配置し、2 名以上の評価者がブラインドで評価する。

【試験内容】

- ・ 承諾行為実施前の導入的説明
- ・ 承諾を前提とした家族への説明（説明冊子を用いること。）
- ・ 承諾書及び問診票の作成

【評価方法】

- ・ 1 回の審査で、家族役と評価者の合計 4 名以上が、評価票を用いて評点・段階評価を行う。
- ・ 2 回の審査における評点の平均点と、家族役と評価者が行う段階評価・コメントを勘案し、可否を判断する